



7月26日に行われた本棚づくりイベントの様子＝鎌水中学校提供

「夢の家づくり」が始動

鎌水中学生ら、職人に学ぶ

鎌水中学校（山川毅校長）の生徒たちが、地元建設会社の株名尾建（名尾俊太郎代表取締役社長）の協力のもと、「夢

の家づくりプロジェクト」を開始した。プロジェクトは鎌水中学校地域学校協働本部・学校運営協議会が主催。

生徒たちが戸建て建築の構想段階から参加しものづくりを学ぶことを狙いとしており、呼びかけに集まった同中・小の有志生徒ら約30人がこのプロジェクトに参加している。

自由なアイデアを

6月に行われたキックオフイベントでは、名尾建の職人らが鎌水中を訪問。「どんな家をつくりたいか」という問いに「煙突がある家」「地下室がある家」など子ども

たちの自由なアイデアが寄せられた。体験会も行われ、実際に名尾建の重機で同校中庭の枯れた木を引き抜き生徒たちは重機のパワーを体感した。

7月26日には、鎌水にある同社の倉庫で第2回のイベントを開催。参加した生徒らは、木材の特

徴や道具の使い方などを教えてもらった後、ものづくりを学ぶために職人と一緒に木製の本棚を製作した。

プロジェクトはこのあとさらに「どんな家にするか」を検討していき、今秋に基礎作りを見学する予定だという。